

市民による熊本の 復興まちづくりの これまでとこれから

災害からの復興において、市民が主役になったまちづくりは大切です。

本シンポジウムでは熊本地震や球磨川水害からの復興において、市民や民間の立場で活躍されてきた方々からこれまでの活動を紹介いただき、総合防災の専門家も交えてこれからの展望を議論します。



プログラム

2022年9月20日 火

参加費
無料

先着100名

九州支部HPのGoogleフォームから
事前にお申込みください

熊本城ホール 大会議室A3、A4
〒860-0805 熊本市中央区桜町3番40号

■13:30 受付開始

14:00 開会

主催者挨拶 辰巳 浩 (公益社団法人 日本都市計画学会 九州支部長)
開催地からの挨拶 柿本 竜治 (熊本大学 教授)

14:15 第1部

話題提供

過去を知り、未来を思う、場のつくり方、そしてまちのあり方
人吉球磨のブランドマーケティング

面木 健氏 (OMOKENパーク)

有村 友美氏 (人吉温泉「あゆの里」若女将)

“本業回帰”の民間まちづくり参画 ~復興まちづくりのフェーズ変化と共に~

中村 哲氏 (じもとビークル研究所)

■コメンテーター

岡田 憲夫氏 (京都大学 名誉教授 / 熊本大学 客員教授)

15:00 第2部

パネルディスカッション

面木 健氏 有村 友美氏 中村 哲氏 岡田 憲夫氏

■ファシリテーター

田中 尚人氏 (熊本大学 准教授)

15:50 閉会

閉会挨拶 円山 琢也 (熊本大学 教授)



本セミナーはCPD,CPDSプログラムに認定されています。



パネリストの略歴



面木 健 Omoki Takeshi

オモケンパーク/KMバイオロジクス経営企画部広報課

1965年熊本市生。地元企業に在籍しながら、実家である熊本市中心商店街「上通」にて、街中の縁がわのような場づくりを目指した「オモケンパーク」を運営中



有村 友美 Arimura Yumi

人吉温泉「あゆの里」若女将

1982年福岡市生。米国で会計学を学び、帰国後、外資系ホテルに勤務。あゆの里では女将業のほか運営統括、人事、財務に従事。人吉球磨観光地域づくり協議会インバウンド事業マネージャーを担当。趣味は異文化交流、旅行、食、地酒。3児の母。



中村 哲 Nakamura Tetsu

じもとビークル研究所

震災後、「益城町復興計画」の策定を支援。現在は、益城町復興まちづくりアドバイザーとして益城町の復興支援業務に従事している。(株)未来創成ましき(益城町のまちづくり会社)スタッフとして施設整備・運営事業等にも従事

PROFILE

九州支部 リレー シンポジウム

コメンテーターの略歴



岡田 憲夫 Okada Norio

京都大学名誉教授/熊本大学客員教授

1947年生。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学助手、鳥取大学助教授、同教授、1991年より京都大学防災研究所教授、2009年から2011年まで同研究所長、2012年熊本大学教授兼、減災社会システム実践研究教育センター長を経て、2013年より関西学院大学教授、同災害復興制度研究所長。2016年3月末に退職し、顧問に就任、2017年-2019年にかけてドイツのポツダムの持続可能性国際高等研究所(IASS) Senior Fellowを務める。

ファシリテーターの略歴

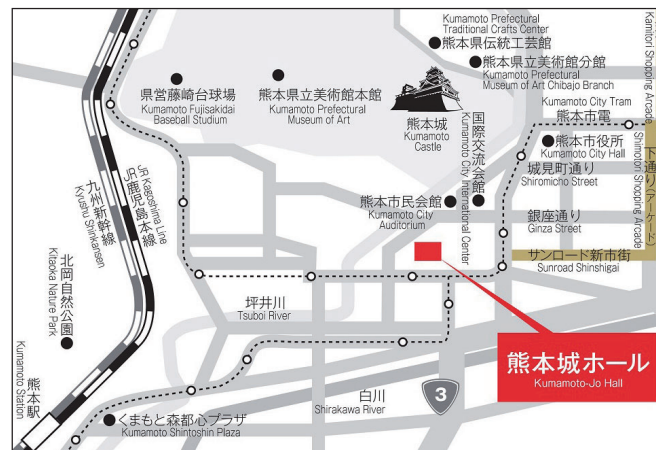


田中 尚人 Tanaka Naoto

熊本大学大学院 先端科学研究部准教授

1971年京都府生。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。京都大学助手、岐阜大学講師、熊本大学熊本創生推進機構准教授を経て、2022年より現職。専門は、土木史、景観まちづくり、都市地域計画

会場 熊本城ホール アクセスマップ



熊本駅から/市電約12分、車約10分
阿蘇くもとと空港から/バス約46分
熊本ICから/車約35分

申込方法

九州支部HPのGoogleフォームから事前にお申込みください。

申込期間：8月22日(月)～9月16日(金) 17:00まで



パソコンはこちらから

<https://forms.gle/6XcPmTHiAw83rDx38>

日本都市計画学会 九州支部

検索



スマートフォンはこちらから

